

展示クイズに答えて BINGO-解説用シート

キッピー山のラボ
三田市有馬富士自然学習センター

Q1. つよしくんのモデルのクワガタムシは？

A. ミヤマクワガタ

解説：つよしくんは、実際のミヤマクワガタを70倍の大きさにしています。有馬富士公園にはいろいろなクワガタがいて、つよしくんのモデルになったミヤマクワガタをはじめとし、ヒラタクワガタ、コクワガタ、ノコギリクワガタ、チビクワガタなどのクワガタと出会うことができます。カブトムシもいます。

Q2. まつぼっくりをエビフライのような形にする動物は？

A. ニホンリス（エゾリス（北海道に分布）も同じような食べ方をします。）

解説：松ぼっくりの中にはタネが入っていて、リスにとって秋から冬のごちそうです。リスは両手と歯を使って器用に松ぼっくりの鱗状の部分をはがして種だけを食べます。

リスが作る松ぼっくりのエビフライは人間でいうところの、とうもろこしの芯のようなものです。

実物も触っていただけますので、受付で借りてください。

Q3. ダンゴムシの食べ物は？

A. 落ち葉などを食べます。

解説：落ち葉を食べて出た「うんち」が森の土になります。自然の中では、少し難しい言葉ですが「分解者」という働きをしています。

ダンゴムシやミミズのような落ち葉や虫の死骸などをたべてくれる生き物がいるおかげで、山の中は落ち葉だらけになることなく、良い環境が維持されています。

Q4. ニッポンバラタナゴはどこに卵を産む？

A. (ドブガイなどの) 二枚貝の中

解説：産卵期になるとニッポンバラタナゴはお尻から長い管（産卵管）を出し、この管を二枚貝に差し込み卵を産みつけます。数日後、貝の中の卵はふ化し、その後20日間ほど貝の中で過ごした後、自分で泳げるようになってから貝の外に出ていきます。一番外敵に狙われやすい時期を貝の中で過ごすことで、より多くの子が育つことができます。

Q5.ぼうしがしましま模様のどんぐりは？

A. シラカシ・アラカシ・アカガシ

解説：ドングリはブナ科という木のグループがつける実のことです。

どんぐりのぼうしと呼ばれる部分は母樹（ぼじゅ）とつながっている部分です。人間で言うとおへそを隠しているの、パンツという方が正しいかもしれません。種類によっていろいろな形をしたパンツがあります。

Q6.ナマズのひげは何本ある？

A. 4本

解説：生まれてから少しの間は6本で大きくなると2本無くなります。大人になるとヒゲが生えてくる人間とは逆ですね。ナマズのヒゲは、人間の舌にあるような味蕾（みらい）という組織があり、味までわかるそうです。昆虫の触角のような働きをしています。ナマズは夜行性のため、暗闇の中で餌を探すときにこのひげは役に立ちます。

Q7.三田で見られる成虫が光る3種類のホタルは？

A. ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルの3種類です。

解説：ホタルという名前がついていても、光らないオバボタルなどの種類もあります。

ゲンジボタル、ヘイケボタルの2種類は幼虫時代は水の中で暮らしていますが、ヒメボタルの幼虫は森の地面を歩いています。

Q8.アカハライモリの前足の指は何本？

A. 4本

解説:カエルやイモリ、サンショウウオなどは前足の指が4本で後ろ足の指が5本の種類がほとんどです。有馬富士公園にはたくさんの種類のカエルがいます。本当に前足の指が4本、後ろ足の指が5本なのか探してみましょう。

Q9.草を使って丸い巣を作るネズミは？

A. カヤネズミ

解説：カヤネズミの「カヤ」というのは、有馬富士公園にもある茅葺き（かやぶき）民家の屋根に使われるような、ススキ、オギなどの植物のことを指す言葉です。カヤネズミは地面から生えているカヤを使って、鳥の巣のようなボール状の巣を作り、この中で子育てをします。草刈りをしすぎるとすめなくなってしまう。日本で一番小さなネズミで、体重は500円玉ぐらい、大きさは大人の親指ぐらいです。

公園の中では、林の生態園や棚田で確認されています。